

## 参加要領

### 大会参加費

会 員	2,000円
一 般	3,000円
学 生	1,000円

※参加費は1日のみ参加も、2日間参加も同額です。  
オンライン参加も同額です。

### 申し込み期日

第1期 2024年5月1日(水)～6月30日(日)

第2期 7月1日(月)～7月31日(水)

※8月1日以降(第2期を過ぎてから)の申し込みは、申し込みフォームや郵送ではなく、当日申し込んでください。

### 申込書記入について

申込書に、分科会、実技講座などの必要事項をご記入下さい。  
実技講座は定員になり次第締め切らせていただきます。

### 宿泊について

必要な方は、ご自身でご用意ください。

### 2日目昼食について

各自、ご持参ください。

キリトリ

## 第50回全国大会参加申込書

氏名	フリガナ			参加区分 該当するものに○をつける		申し込み日
				会員	一般	学生
連絡先	【住所】(〒 - )			職場・所属		
	【TEL】 (自宅・携帯・職場)			【E-mail】		
参加 該当するものに○をつける	2日間参加	1日目のみ参加	2日目のみ参加	2日目を オンライン参加	1日目参加 2日目オンライン	
	第1 「遊び・生活・育ち」	第2「ものづくり・ 工作、生活科・総合」	第3 「特別支援教育」	第4 「地域」		
参加希望分科会 希望の分科会1つに ○をつける						
参加希望実技講座 希望の講座1つに ○をつける	①	②	③	④	⑤	⑥
	⑦	⑧	⑨	⑩		
参加費	備考					円

## 参加申し込み方法

1. 申込書の内容をホームページの第50回大会申し込みフォームに入力し、送信してください。  
ホームページを利用されない方は、申込書にご記入の上、中村源哉宛に郵送してください。  
(手労研事務局では申し込み受付はしていません)
2. 実技講座は先着順で受け付けます。定員に達したためご希望に添えない場合は、連絡いたします。  
(連絡は第1期に申し込まれた場合に限りです。それ以降は、当日お伝えします。)
3. 下記銀行口座に参加費をお振込みください。
4. 振込みが確認され次第申し込み完了となり、受付票を送付します。大会直前に申し込みフォームや郵送で申し込まれた場合は、行き違いになることを避けるため、受付票は大会事務局に留置きします。該当の方は当日、受付にお申し出ください。
5. お一人の方が何人かまとめて振込みをされる場合は振り込まれる方の申し込みフォームのメモ欄、申込書の方は備考欄に全員の氏名をご記入ください。
6. キャンセルの場合は下記、大会事務局の中村源哉までご連絡ください。参加費の返金はできません。

## オンライン参加について(1日目は対面のみ)

2日目の「基調講演」「分科会」は、オンラインでの参加を希望された方に発表者中心の固定カメラで、ライブ配信のみをおこないます。事前に通信状況をご確認ください。  
オンライン参加者が質問などの発言をすることはできません。マイクはミュートでご参加ください。オンライン参加の当日申し込みはできません。

## 申し込み先

- ホームページ <https://terouken.jp> (手労研)
- 郵送 大会事務局 中村 源哉 (なかむらげんや)  
〒195-0073 東京都町田市薬師台1-25-29  
TEL 090-9689-8280



※不在の場合は留守番電話にお名前、ご用件を入れてください。

## 振込先

振込先 横浜銀行 鶴川西支店  
普通口座 6090450  
名義 ナカムラ ゲンヤ

## 大会内容についてのお問い合わせ

手労研事務局  
〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33  
千葉大学教育学部 生活科 鈴木隆司研究室  
TEL 043-290-2580 e-mail t-suzuki@faculty.chiba-u.jp

# 子どもの遊びと手の労働研究 第50回 全国大会のご案内

大会テーマ  
遊びやものづくりでひとの輪を広げよう

2024年8月3日(土)～4日(日)

## 大会時程

										16:00	17:00	18:30
3日(土)											総会	手づくり講座
	9:00	9:30	10:30	12:30	13:30	14:30				16:30		
4日(日)	受付 販売	全体会 基調講演	分科会	昼休み	分科会	実技講座						

## 会場

## 同志社中学校

〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町89

## 会場:同志社中学校までのアクセス



地下鉄烏丸線「国際会館」駅  
2番出口すぐ  
叡山電車 鞍馬行・市原行  
「八幡前」駅下車徒歩7分

手労研とは…<https://terouken.jp>(手労研で検索!)

1973年に発足した市民団体です。子どもの遊び、手仕事やものづくりを子どもの生活をベースにしながら、幼児から青年まで数多くの実践と研究を重ねてきました。

発足50周年、会報は600号を超えます。

代表委員 土井康作(鳥取大学名誉教授)

事務局長 鈴木隆司(千葉大学教育学部教授)



## 総会 3日(土) 16:00~17:00

1年に1回の総会です。手労研の活動や会報について、一緒に考え合える機会です。会員の皆様はぜひ、ご参加ください。

## 手づくり講座 3日(土) 17:00~18:30

100を超える工作の展示、販売をおこないます。作り方、材料の入手、工夫点などを交流しましょう。他に手作りや遊びのコーナーもあります。大会参加のおみやげにしてください。1日目から参加しても、2日目だけ参加しても参加費は変わりません！ぜひ1日目からご参加ください。

## 全体会 4日(日) 9:30~10:30

### 基調講演 「AI時代」といわれる現在、子どもの遊び、学び、生活は・・・

「チャットGPT」という対話型・生成AI（人工知能）が登場して以来、「AI時代」とも言われだしました。AIでなんでも出来るという空気が広がっています。本当のところはどうなのでしょう。そんな今だからこそ、自分の手や体や頭を働かせる遊びや手の労働が大事なのだ、という思いや私なりの考察を語ります。

**須藤 敏昭プロフィール**：子どもの遊びと手の労働研究会前代表委員  
大東文化大学名誉教授（元学長）



## 分科会 4日(日) 10:30~12:30 13:30~14:30

### 第1分科会 あそび・生活・育ち 「今、そしてこれからの子どもの遊びと生活」

保育・教育現場ではコロナ前・コロナ禍の経過を大切にしつつ、改めて内容や形態を検討してきました。新たに気づいたことや大事にすべきことを元に、子どもの生活・遊びについて考え合ひましょう。

### 第2分科会 ものづくり・工作、生活科・総合「再発見！ものづくりでの子どもの学び」

ものづくりや工作教育の実践を検討します。生活科や総合学習、図画工作科といった教科におけるものづくりにスポットライトをあて、その中での子どもの学びを追求します。

### 第3分科会 特別支援教育 「現状への光を」

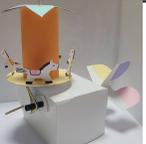
国連障害者権利委員会による日本の教育状況への認定は「分離された特殊教育に留まっている」というものです。しかし、現在までに当事者が築いた教育環境、努力を否定すべきではないと思います。具体的突破口を見出していきましょう。

### 第4分科会 地域 「くらす・つくる・つながる」

学校や学童保育、児童館でのものづくりや仲間づくり、これまでの地域での大人同士の活動を交流しましょう。

## 実技講座 4日(日) 14:30~16:30

各講座は、いずれも手労研で培ってきた魅力的なものです。どれか一つに参加できます。定員になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。  
□の中の人数は定員です。

<b>① 旋盤で一輪挿し</b> <b>外村 拓也 京都支部</b> 10人  金属と木材を加工して、一輪挿しを作ります。	<b>② テセレーションデザインのパスル</b> <b>有附 祥吾 兵庫支部</b> 12人  テセレーション（敷き詰め模様）をデザインし、木の板のパズルにします。
<b>③ ここがふしぎ・おもしろい20</b> <b>松本 達郎 岡山支部</b> 12人  ズーム万華鏡他、2つの作品を作った後、20のふしぎの特に面白いものの演じ方を紹介します。	<b>④ 多数羽根のガリガリトンボ（フロペラ）</b> <b>東森 茂美 大阪支部</b> 12人  あなたは、何本の羽根を回せるかな？ 材料の木の枝を参加した希望者にプレゼントします。（会報606号紹介作品）
<b>⑤ 木の枝鉛筆（ホントにかけるかな？ウソかな？）</b> <b>名和 秀幸 大阪支部</b> 12人  1本の枝を削って鉛筆を作しましょう。	<b>⑥ 磁石のおもしろ工作</b> <b>原田 孝子 愛知支部</b> 12人  磁石どうしが反発する作用で、ピョコピョ〜んと動く楽しい工作です。
<b>⑦ 水引細工のアクセサリー</b> <b>山崎 ゆり子 豊中サークル</b> 12人  「晴れの日」の贈り物などに飾られてきた日本の伝統文化「水引細工」。基本の「あわじ結び」を使ってアクセサリーを作ります。	<b>⑧ フンブンシャボン玉</b> <b>土井 康作・笠間 玉緒 東京支部</b> 12人  ブンブンシャボン玉は、回転させるとブンブンと音がして、シャボン玉のように見えます。
<b>⑨ 回るメリーゴーランド</b> <b>平見 凧 和歌山支部</b> 12人  クリアファイルを使って回る仕組みをつくります。	<b>⑩ とび出すパペット</b> <b>福田 薫 川崎サークル</b> 12人  カラー軍手で作ったパペットが飛び出します。「いないいないばあ！」で遊びましょう。